

所長の模型部屋（第16回）

皆さんこんにちは。皆さんの好きな模型のジャンルは何ですか？私はもちろん1/35のAFVなのですが、航空機や艦船もたまに作ります。もちろん自衛隊関連が主なのですが・・・そんな中、作ってみたのが



キットはハセガワの1/48です。新規に自衛隊仕様にされて発売されたものですが、いかんせん部品数が多く、また米軍仕様用なのか不要部品が多く、ランナーが多いんですよ。不要部品の山を見てため息ばかり・・・そんな印象を受けました。

やはり苦労したのはキャノピー内の塗装とその後のマスキングの手順、そして自衛隊へり特有の色ですかね。見てのとおりに戦車や装甲車と色が違うんですよ。

私はこの機体を実物で見たことはないのですが相馬ヶ原駐屯地で勤務した際、12ヘリ隊のCH-47を間近に見ることができたので、その色に近づけるように調合しました。

あと、ヘリに詳しい方ならお分かりでしょうが、ヘルファイアが搭載されています。自衛隊に納入されたとき、ダミーが装着されており、キットもそれを模型化しています。でも、いずれ納入されるのだからと戦闘イメージを優先して実弾色であるODとして見ました。形が違うかも知れないのですが、鮮やかなブルーのミサイルが搭載されているよりカッコイイと思うのですが。

あれ、後ろにあるレジックキットは・・・そのうち完成したら紹介させていただきます。



アパッチはその重武装とローター上の鏡餅（笑）が特徴ですよ。AH-1Sコブラのように細くてスマートなイメージから空飛ぶ重戦車のような形に変わって「いかにも強そう！」と感じさせます。

キットはストレート組で、同社から発売されているエッチングパーツは使用していません。そんな技量もお金もないし・・・



機体は将来装備されるであろう第3対戦車ヘリ隊仕様にしたのですが、後日知り合いの航空機整備幹部が「アパッチは西方（九州）に集中配備されるよ」と聞いて一安心・・・



実機写真でもフル装備の状態はないのですが、こんな芸当が出来るのも模型だからですよ。先述した機体色ですが、緑色と黒はグンゼの指定色どおりなのですが、茶色の混合色は少し暗いため、オリブドラブ(2)を加えて明度を上げています。写真写りによってはもっと赤茶色になっているものもありますが、このくらいが実機に近いと思います。是非、お近くの駐屯地記念日で航空機が来たときに確認してみてください。



迷彩色は、筆で境界線を塗り込んだ後、エアブラシで塗っています。陸自航空機の迷彩は初めてだったのであまり自信がないのですが・・・いかがでしょうか？



飛ばしてみました・・・なんちゃって（指が映ってる！）着陸状態では目立たない30mm機関砲が顔を出します。実は製作途中でこの機関砲部分を紛失してしまい、アフターパーツで取り寄せました。このため製作意欲がなくなり、完成予定日から2ヶ月に遅れてしまいました。部品数が多いキットは部品の紛失に要注意ですね。



フィギュアは丁寧に塗って見たのですが、キャノピーに入ってしまうとほとんど分かりませんね。

キャノピーとフィギュアの塗装が終わってから機体の塗装をするのですが、マスキングが甘かったため、ドアの隙間とワイパー基部の穴から塗料が少し中に入ってしまった。皆さんも気を付けましょう。

今回は・・・自衛隊戦車の歴史シリーズ第3弾

M4戦車

です。

ではまた・・・

